

精神訪問看護師

あなたがどのような格好をし
どんな不思議なことを喋り
おかしい行動をしようと
あなたの奥に輝く光を信じ
明日への希望を抱いていた

あなたがどんな過ちを犯そうとも
その動機の背後に隠れた善意を信じ
無条件にあなたを尊敬したい

私とあなたに絆があるうがなかるうが

私はあなたに共感したい
あなたがどんなことに関心を示し
どんなことに価値を見い出し
どんな目標や目的を持ち
周りの人々をどのように捉え
どんな人生を切り拓きたいのかを
一緒に寄り添い語り合いたい

そう、私はあなたと
同じ時間・同じ場所を共有する
地域生活者の一人としての
仲間なのだから。

詩人の夜

神経が逆撫でになり

叫びたいほどの境地に陥りながらも

冷静を装い第三者の目を意識しては

何事もなかったかのように礼節を尽くす

そんな夜反乱し損ねた子供たちが

月の灯りに誘われるように

暗闇に覚醒し始める

あの時あの言動はあれでよかったのか
もっと別の方法はなかったか

白い余白を探し自分自身と対峙するため
原稿用紙に向かう

滲む文字の向こうには

私の生活の現場が再現されその時の

子供たちの声や思いを聞く

こんな方法もあんな着地の仕方もと

確認しあいやがて彼らは安らぎを得た

子猫のように眠りについた。

心が創られる場所

ふと人の心を覗き込みたい
そんな思いに駆られる時がある
さながらフロイト博士のように
心を分割し解剖してみる
形、色、メカニズムがどんな風に作用しあい
轟いているのだろうか

テレビは一方的コミュニケーション
に過ぎぬが演劇はその瞬間その空間を
共有しあう二度とない一回限りの
役者と観客の共同作業だ

あなたの家に足を運ぶ時
私は一流の役者になる
わたしはあなたと交わりながら
あなたの思い、考え、感じ方、信念どもを
ごっちゃ混ぜにひっさらばえ揺さぶる
その過程のなかに心が開拓され
あなたがわたしに新たに創造される
心はあなたの中だけにあるのではない。

傾聴

いけない

ちゃんと聴かなければ

いけない

喋りすぎでは

いけない

分析しちゃあ

いけない

同調しすぎては

いけない

一緒に痛がっても

世界に一人だけの厳かな存在から

力を引き出すためには

この人の誰も気づかぬ個性を見抜き

水をやり光を注ごう

詩を一編推敲するように。